

NO.	6	No Image
学区	田上学区	
主な相手先	ふる里田上を考える会ほか	
日時	2019年6月8日(土曜)	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田上太鼓保存会は、昭和 64 年（平成元年）より活動をはじめた。田上太鼓は江戸時代から始まったものだが、大正時代らへんで途絶え、復活させたもの。復活には上田上郷土史料館の東郷館長など多くの人が尽力した</li> <li>・ 田上太鼓保存会は、市民センターで活動をしていたが、市民センターの改築に伴い、活動場所の確保や会員の募集について、市民センター側の協力が得られず、活動は現在休止している</li> <li>・ 田上太鼓踊り「フェニックス」は、田上太鼓の中の太鼓踊りを大人向けにしたものであり、田上太鼓とは違う</li> <li>・ 田上太鼓も、仰木太鼓のように、保存や活動のために行政からの支援をいただきたい</li>   <li>・ 田上の鉱物博物館は非常に価値がある。太神山周辺は、トパーズなどの鉱石が採掘できるところとして有名。現在の館長の先代が鉱石を集められ、展示されている</li> <li>・ 鉱物博物館の土地は天神川の河川敷（滋賀県管轄の国有地？）だが、建物は民間所有。建物の老朽化が進んでいるので、行政による維持管理などができないか</li> <li>・ 鉱物博物館の所有者の方の意向もあるので、実際には所有者の方に相談して欲しい</li>   <li>・ 船幸祭とは非常に関わりが深い。</li>   <li>・ 枝の山の神は今も続いている。帰りに振り返ってはいけないなどの慣わしがある。</li> <li>・ 今はまだ続いているが、若い人がいなくなっていて、続けていくのが難しい。女の子が行ってはいけないなどもあるので、担い手の確保が難しくなりつつある</li> <li>・ 神社のあるところは、その祭りが優先で、山の神が二の次になっているようだ</li>   <li>・ 田上不動尊のご開帳のとき、護摩炊きをしていて、不動明王のお札を買いに行つて、家に飾っている（9月20日ぐらい）</li> <li>・ そのときは山伏の恰好をしている人がいる</li>   <li>・ 田上小学校での卒業植樹は、山の上まで行って一人一本というものではなくなったが、川べりなどで行っている</li>   <li>・ 太神山は花崗岩（長石、雲母、石英）で、長石の含有量が多いという特徴がある。</li> </ul>	

長石は水に溶けやすいため、砂が流れる。川の勾配が変わるところに砂が溜まるため、田上の川には州が多くできている。禿山になったことで、鉱物がたくさん取れた。鉄鉱石も取れ、溶鉱炉を作ったこともあった

- ・羽栗、森、枝、里を中心に講があった
- ・伊勢講などいろんな講もあったが、今はほとんどやってない